

山邊 恵介

1. 事業実施の目的

長期フィールドワークのための予備調査

2. 実施場所

フランス南部、トゥールーズ

3. 実施期日

2023年 9月 30日(土)～ 2023年 10月 30日(月)

4. 成果報告

●事業の概要

本事業は報告者の博士課程における研究テーマである「フランスにおける障害者の労働と生に関する人類学的研究」に必須の長期フィールドワークの内容と可能性について具体的に検討することを目的としている。計画時の概要としては、報告者の調査予定地であるフランス南部トゥールーズにあるトゥールーズ・カトリック学院フランス言語文化研究院に登録し、当該地域の言語を集中的に習得しつつ、聴覚障害者たちのコミュニティの拠点である手話言語研究所を訪問し、具体的な長期調査の可能性(フランス手話の習得に想定される必要な時間・経費、ろうコミュニティの概要の聞き取り、長期調査時の身元引受先の照会など)を明確にするための予備調査を行うものである。

●本事業の実施によって得られた成果

約一ヶ月間の予備調査によって得られた成果は以下の通り。

・トゥールーズ・カトリック学院フランス言語文化研究院において、一ヶ月間の集中的なフランス語およびトゥールーズ方言の研修を受けた。これにより報告者のフランス語力が向上しただけでなく、研究院における過去のろう、聴覚障害をもつ外国人のフランス語習得に関する経験についてもわずかながらデータを得られたことは思いがけず重要な出来事であった。また手話言語研究所においては、フランス手話の習得に関して三ヶ月から半年の研修コースを開設しており、そこに参加することで多くのろう者やろうコミュニティとの接点が不可避免的に生まれることを確認できた。

・現地在住の日本人でフランス手話話者である方と面談し、フランスとトゥールーズにおけるろうを取り巻く状況などについて情報を得ることができた。中でも当人が修了したトゥールーズ・ジャン・ジョレス大学の手話言語学とメディアトゥール学科(Département de Traduction, d'Interprétation et de Médiation Linguistique (D-TIM))について話を聞き、そ

の中で「フランスにのみ存在する」と紹介された専門職、「メディアトゥール/メディアトリス」の存在を知ることができた。手話通訳士が音声言語と手話言語を逐語訳する聴者によって担われる仕事であるのに対し、メディアトゥールはフランス手話あるいは手話言語を解さないろうの人々（不就学者や海外出身者など）と聴者のあいだ（多くの場合入国管理局や病院などの場面において）で要約や図解、国際手話や各国語手話を参照しつつ対象者に伝わりやすい手話表現を即興的につくることなどを職務とし、主にろうの人々によって担われる。ろうの人々の労働についての研究を展開する報告者にとってこの情報はとても興味深いものである。出張中に同学科の学科長と前学科長と知遇を得ることができ、これによって長期調査時の身元受け入れ先についても見当をつけることができた。

・民間の手話言語の教育・研究機関である手話言語イノベーション研究所（Institut de Rechercher et Innovation de langue de Singe 略称 IRIS）に訪問することも叶い、研究所が行っている事業のうち、聴者向けの手話講座やろう学校でない普通学校に通うろうの子どもを対象に行う手話教育について、具体的な内容を知ることができた。とくに、普通学校に派遣された手話教師によるろうの子どもへの手話講座は実際に見学し、子どもと机を並べてフランス手話を部分的に習う経験をしたことで、研究所の事業と手話講師の行っている仕事についてより深く知ることができた。

●本事業について

・現地調査の機会をいただき、具体的で有益な情報を得ることができました。感謝いたします。